

ご多用の中、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。令和5年度の集計結果をご報告いたします。なお、自由記述でもたくさんの貴重なご意見をいただきました。実践できることについては、積極的に取り入れて改善を図ってまいります。

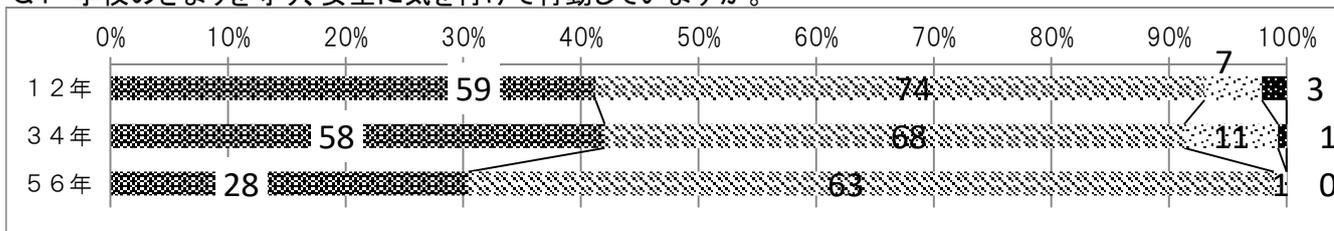
※ Aとても思う    ※ Bだいたい思う    ※ Cあまり思わない    ■ D思わない

## A. 児童による自己評価

調査期間 令和5年12月15日～25日    集計総数373名（欠席1名） 実施率99.7%

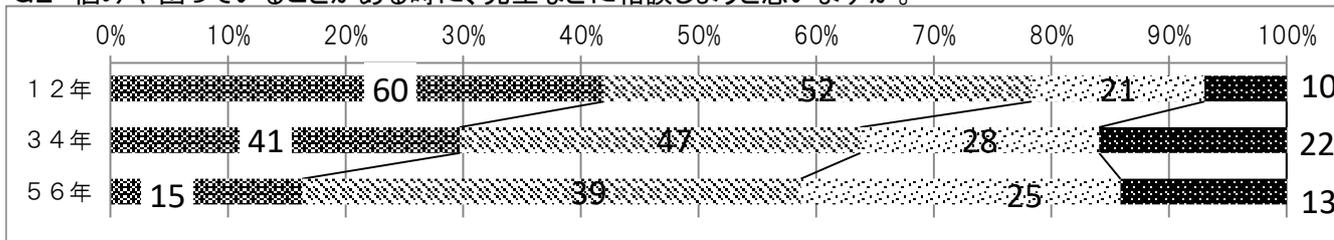
### 1. 安全安心な学校

Q1 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。



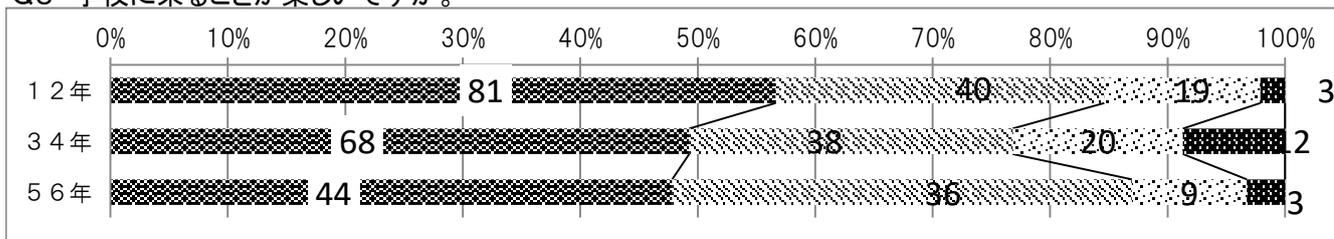
「Q 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が全体の9割以上と高い数値です。自己を律しようとする練二小の子供たちの姿が表れています。避難訓練や安全指導はもちろんのこと、日常生活での約束事やマナーについても、引き続き場面ごとに指導をしていきます。

Q2 悩みや困っていることがある時に、先生などに相談しようと思いませんか。



「Q 悩みや困っていることがある時に、先生などに相談しようと思いませんか。」では、「とても思う」「だいたい思う」が約7割。昨年度の6割より改善しましたが、決して高い割合ではありません。また、学年が上がるにつれ、肯定的な考えが減っていく傾向があります。担任・専科・養護教諭・心の相談員・スクールカウンセラー・事務主事など、教職員全体が子供と接し、安心して子供が相談できる環境作りをして、子供からの信頼関係をより強めていきます。

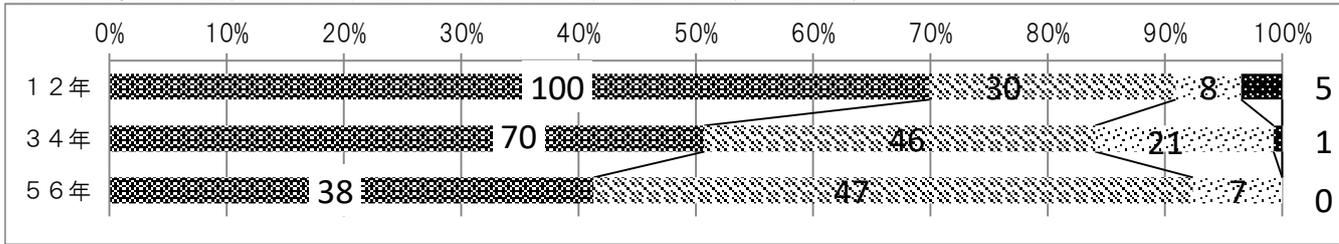
Q3 学校に来ることが楽しいですか。



「Q 学校に来ることが楽しいですか」では、「とても思う」「だいたい思う」が約8割以上でした。一方で「思わない」児童が一定数います。学び高まる楽しさ、わかる楽しさを引き続き味わせるとともに、感染症リスクが低下した現在、仲間とかかわる楽しさを味わわせていきます。また、教師が子供の目線に立って会話をし、子供の悩みや不安を和らげることで、より楽しい学校生活が送れるようにしていきます。

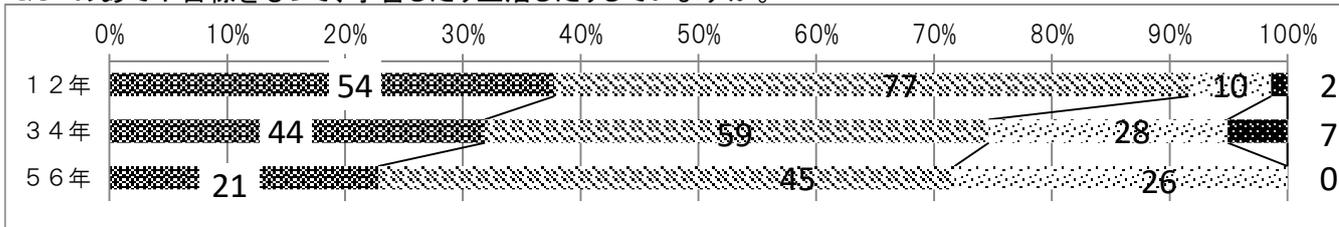
## 2. 新しい教育課程 ～知・徳・体の調和～

Q4 よくわかって楽しかった、またやりたい、と思うことがよくありますか。



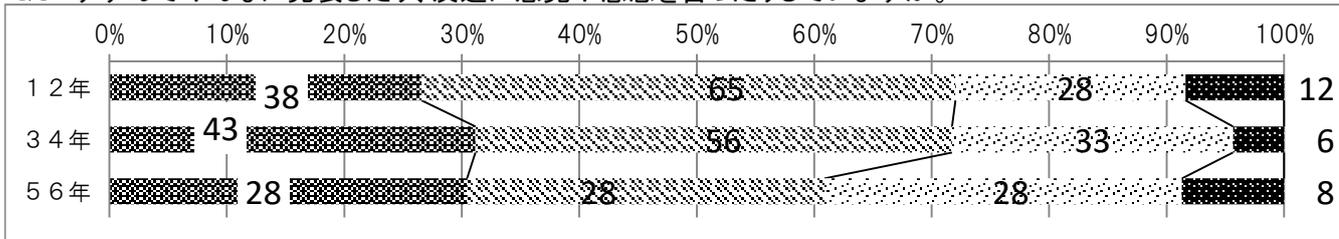
「Q よくわかって楽しかった、またやりたい、と思うことがよくありますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が全体の約9割。ここ数年の校内研究、授業改善で学ぶ楽しさを味わう子が増えてきました。昨年度より高い数値ではありますが、引き続き日々の授業を見直し、「とても思う」と感じる児童をより一層増やせるようにしていきます。

Q5 めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか。



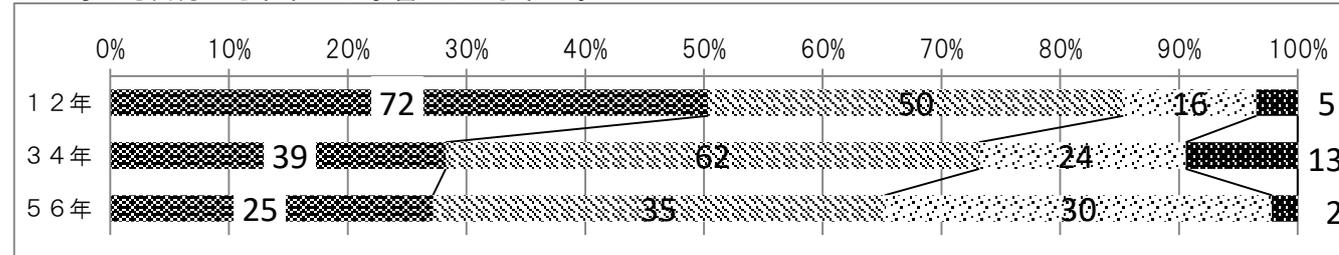
「Q めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか」では、低学年で「とても思う」「だいたい思う」が9割以上ですが、中・高学年で8割未満、学年が上がるにつれて減っていく傾向が見られました。めあて学習が確実に定着してきたことで、中学年以上のめあて意識が高まり、自己評価規準を厳しくしている要因にもなっていると思われます。引き続き、学習や生活で個に応じためあてや目標をもたせ、その重要性を繰り返し呼びかけて、意識を高くもてる子供を増やしていきます。

Q6 すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想を言ったりしていますか。



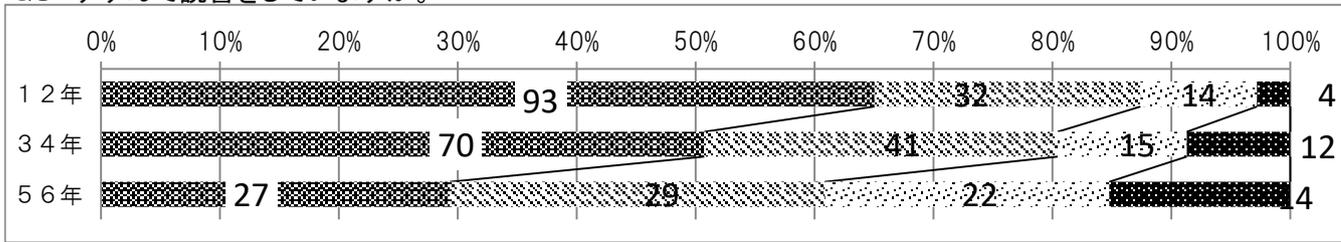
「Q すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想を言ったりしていますか」では「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で約7割、高学年で約6割。すすんで発表することは、本校の近年の課題の一つです。学習発表会がない今年度も、学年ごとに発表を行いました。引き続き日常の学習で、学級内での発表や、グループ内発表、意見交換の場を多く設けるなどして成功体験を積みませ、すすんで発表できる子供を育てていきます。

Q7 家でも自分からすすんで学習していますか。



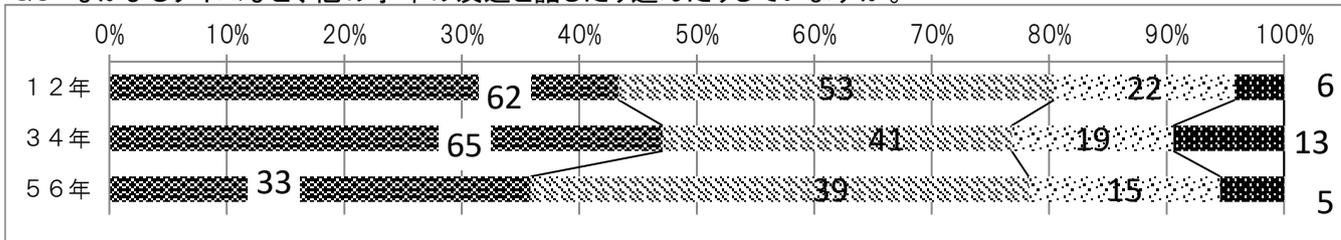
「Q 家でも自分からすすんで学習していますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が低学年で8割以上、中学年で7割以上。昨年よりも改善しています。高学年でも6割以上ができていますが、さらに高めたいところです。学校での学びを家庭学習で習熟する重要性を指導したうえで、家庭と連携しながら児童の意識を高めていきます。

Q8 すすんで読書をしていますか。



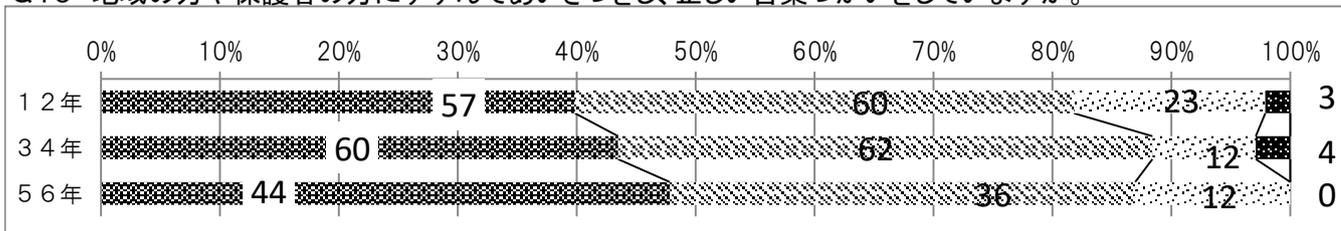
「Q すすんで読書をしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で8割以上、高学年で約6割。高学年では、多忙感から読書時間が減少しがちですが、読書月間、きたえ読書の時間などで物語の世界を味わわせ、すすんで読書に親しむ子供を育てていきます。

Q9 なかよしタイムなど、他の学年の友達と話したり遊んだりしていますか。



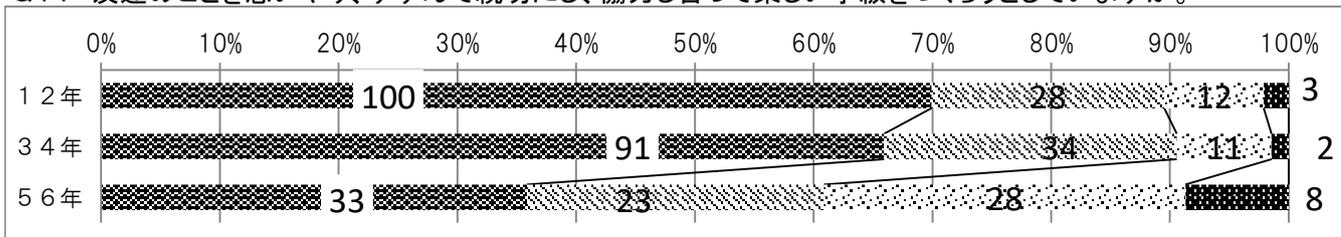
「Q なかよしタイムなど、他の学年の友達と話したり遊んだりしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が約8割。昨年の約7割より改善しました。コロナが5類に移行し、異学年での活動がしやすくなった結果が現れています。学校行事、委員会、クラブ、なかよしタイム、さらに毎日のたてわり登校班等を通じて、来年度も異学年交流を充実させていきます。

Q10 地域の方や保護者の方にすすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか。



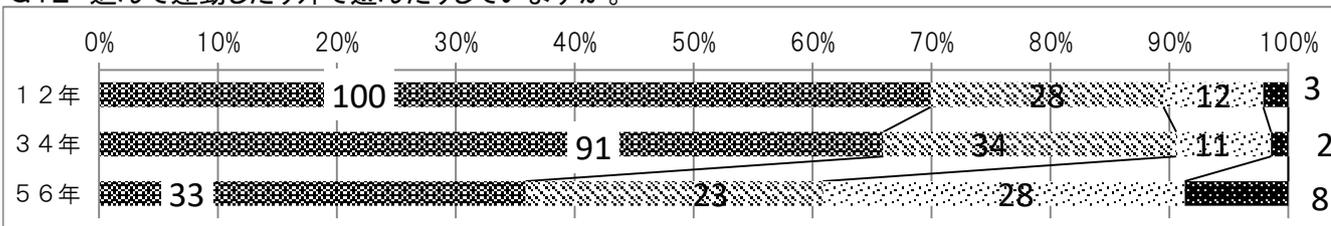
「Q 地域の方や保護者の方にすすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が8割以上。多くの子供たちがあいさつと言葉遣いに高い意識をもっていることがわかりました。一方で【保護者による評価】4. 教育目標「心ゆたかな子」での評価は、あまり高くありません。日頃から教師が手本となり、代表委員会のあいさつ運動、あいさつ川柳などをとおして、あいさつの大切さを実感させ、人と人のかかわりを大切にしていきます。そして、校内だけでなく地域でも明るくあいさつができる子供を育てたいと考えています。是非、ご家庭でもご指導をお願いします。

Q11 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか。



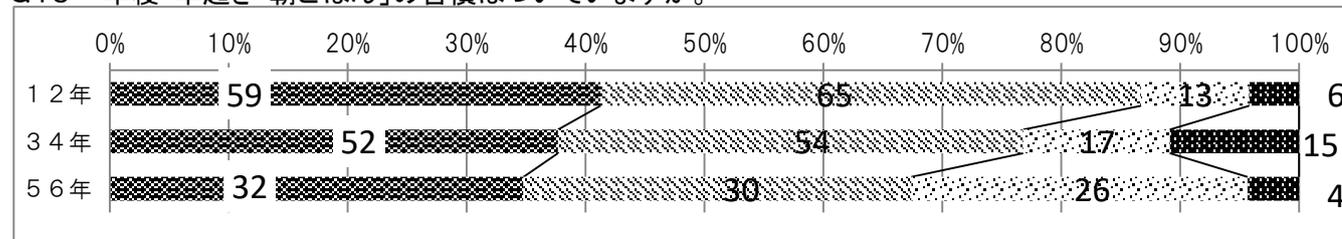
「Q 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で約9割。友達と仲よく生活していることがうかがえます。高学年で5割と極端に評価が低くなったのは、発達段階からすすんで親切にすることへの抵抗感が芽生えてきていることや、意識が高まり評価規準が厳しくなったことが要因として考えられます。練二小の子供たちは、学級でトラブルがあっても何とかして立て直していこうとする意識をもった優しい子供たちです。引き続き思いやりや親切にすることの大切さを伝えていきます。

Q12 進んで運動したり外で遊んだりしていますか。



「Q すすんで運動したり外で遊んだりしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で約9割。一方、高学年は約5割。何となく教室で休み時間を過ごす高学年の子供たちが一定数いることが要因と考えられます。体育科研究による体育学習の更なる授業改善、運動遊びの継続による体力向上、委員会活動の効率化による休憩時間の保障等により、運動の楽しさを味わわせ、自らすすんで運動に親しむ子供を育てていきます。

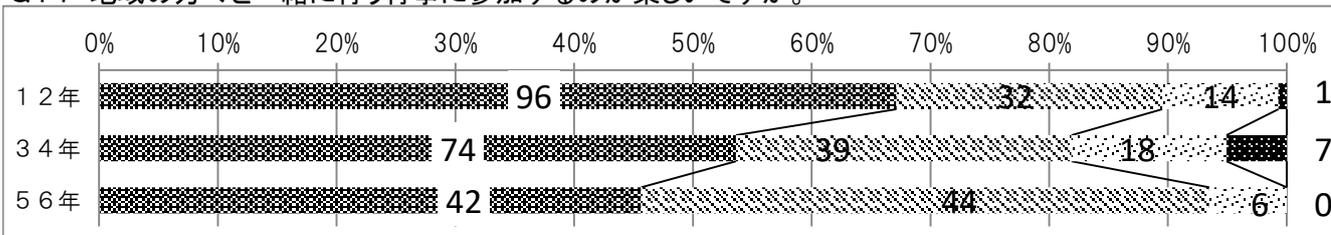
Q13 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣はついていますか。



「Q 早寝・早起き・朝ごはんの習慣は、ついていますか」では、どの学年にも「あまり思わない」「思わない」が一定数いました。早寝・早起き・朝ごはんの習慣は、基本的な生活習慣の基となっているので、是非改善したい項目です。子供たちに意義を指導し、ご家庭でも意識を高めていただき、定着させていきます。

3. 外に開かれた学校・地域との連携

Q14 地域の方々と一緒にいる行事に参加するのが楽しいですか。



「Q 地域の方々と一緒にいる行事に参加するのが楽しいですか」では、「とても思う」「だいたい思う」が全学年で8割以上。特に、数々の80周年記念行事で地域の支えを感じた高学年では、9割以上の高い数値であったのは特筆です。毎年行われているもちつき大会、親子スポーツ大会など、地域の皆様の支えによって、子供たちは健やかに育っています。今後も、地域に愛され、地域を愛する子供たちを6年間かけてはぐくんでまいります。

## B. 保護者による評価・教師による自己評価

保護者による評価 調査期間 令和5年12月 9日～12月24日 集計総数278通 回収率91.7%  
 教師による自己評価 調査期間 令和5年12月12日～12月25日 集計総数17通 回収率100.0%

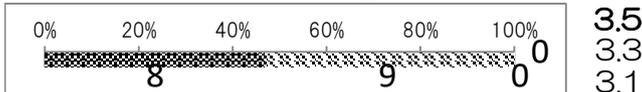
- ◎ 教師による自己評価は4段階、保護者による評価は「わからない」を含めた5段階で評価しました。  
 ◎ 数字は人数です。  
 ◎ 各グラフ右側の数字は、その項目の評価の平均点です。  
 最上段が4年度 2段目が3年度 最下段が2年度  
 とても思う=4点 だいたい思う=3点 あまり思わない=2点 思わない=1点

※ Aとても思う ※ Bだいたい思う ※ Cあまり思わない ■ D思わない ※ Eわからない

### 1. 安全安心な学校

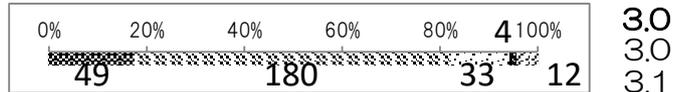
#### 【教師による自己評価】

安全指導、組織的な安全対策など、子供の保健安全管理、危機回避のための対策をとれたか。

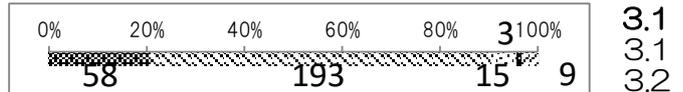


#### 【保護者による評価】

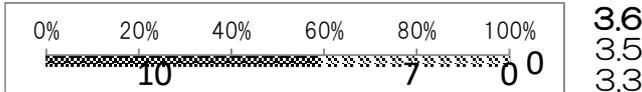
不審者・災害対策、安全指導など、子どもの安全確保のための対策がとられている。



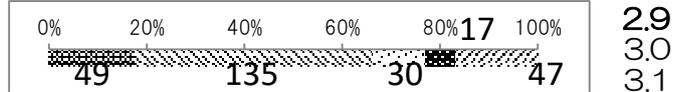
学校施設、教室環境など、安全で学びやすい環境が整っている。



いじめ、問題行動等を予防し、組織的に適切な対応ができたか。



いじめや問題行動に対して、適切な指導が行われている。



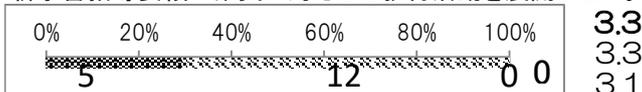
「Q. 安全で学びやすい環境」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の90%以上。安全指導を行い、より安心できる環境づくりをすすめていきます。

「Q. いじめへの指導」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が66%、一方、「わからない」が全体の17%。いじめへの指導は、デリケートな対応やプライバシー保護が必要な場合があり、全保護者の皆様にはなかなか伝わりにくい面があります。状況を判断しながら学校組織での取組状況を伝えていきます。また、児童との面談、直接会話を増やし、児童理解、問題の未然防止、即解決の方針、家庭との情報交換、職員間の組織対応、等をキーワードに、いじめを生まない環境づくり・組織づくりを目指します。「練二小はいじめを絶対に許さない」という強い姿勢で引き続き子供たちを見守り、適切な指導を行っていきます。

### 2. 新しい教育課程

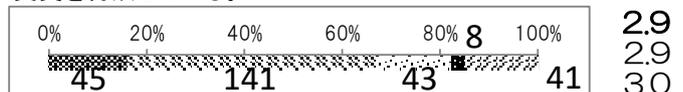
#### 【教師による自己評価】

新学習指導要領に確実に対応した教育活動を展開したか。



#### 【保護者による評価】

効果や価値のある指導を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。

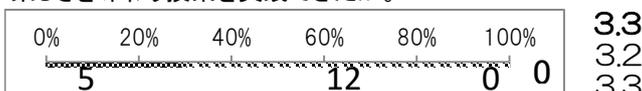


「Q. 新学習指導要領への対応・新しい時代の資質育成」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の68%。昨年度の63%より向上しています。一方、「わからない」が15%。新しい指導内容の本質を保護者の皆様にお伝えしていくのは、なかなか難しいことでもあります。今後も指導内容の本質をおさえ、タブレットパソコンなどのICT機器を活用するなど、積極的かつ確実に、時代の流れを取り入れた指導を行っていきます。

### 3. 教育目標「よく考え行動する子」

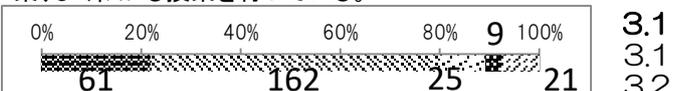
#### 【教師による自己評価】

各教科・領域の基礎基本を確実に定着させ、自ら考え高まる楽しさを味わう授業を実践できたか。

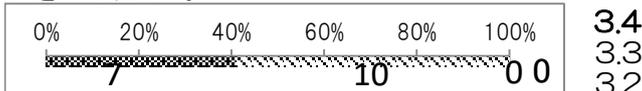


#### 【保護者による評価】

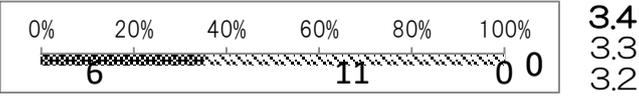
基礎的基本的な学力の定着を図り、高まる楽しさを味わう授業、よくわかる授業を行っている。



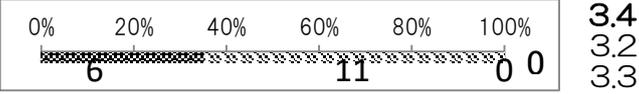
授業改善をめざした研究授業を行い、教師としての力量の向上をはかれたか。



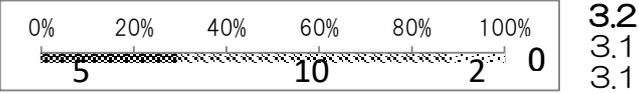
児童のよさを認め励ます指導、一人一人に応じた指導の実践はできたか。



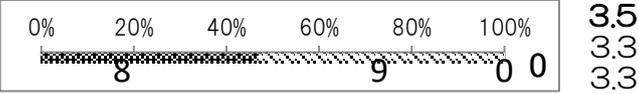
進んで発表し合い、高め合う授業を実践できたか。



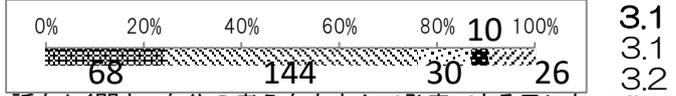
学習規律は定着してきたか。



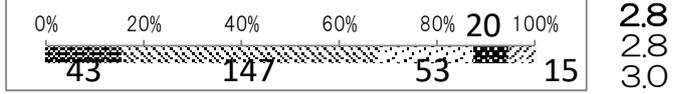
きたえの15分間朝学習は確実にできたか。



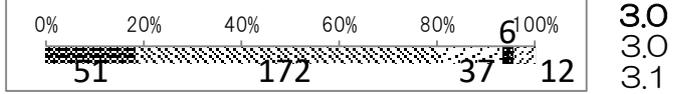
子供のよさを認め励ます指導、個に応じた指導、最後までやりぬく指導が行われている。



話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる子になっている。



家庭学習が定着するように適切な指導が行われている。



「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. 家庭学習の定着」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の80%以上。また、「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. 授業改善・教師の力量向上」をはじめとする、教師による自己評価には、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の意識の向上が数値に表れています。今後も教師の自助努力とともに、基礎基本の学力定着のため家庭学習へのご協力を引き続きよろしくお願いたします。

一方で課題として挙げられるのが「Q. 自分の考えを進んで発表」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の68%、児童の評価Q6「すすんでみんなで発表したり、友達に意見や感動を言ったりしている」でも69%となっており、課題と言えます。日常の学習の中で、グループ発表の場を意図的に設けるなど、全ての子がすすんで発表できるようにし、成功体験を積み重ねて発表への意欲を高めていきます。

「Q. 学習規律の定着」の教師による自己評価「3.2」は、他の項目より数値が低く、課題の一つです。学習規律を定着させてより高い学びができるよう、根気強く取り組んでいきます。この課題解決には、ご家庭の協力が必須です。まずはご家庭で、学習用具を整え、授業で学ぶ心構えをお子様にもたせていただくよう、お願いたします。

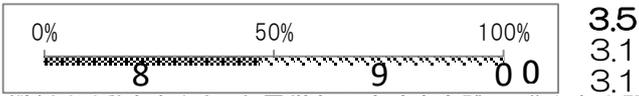
「Q. きたえ学習の確実な実施」教師による自己評価「3.5」と他の項目より数値が高く、どの学年学級でも「きたえ算数」「きたえ国語」「きたえ読書」を確実に実施していることがわかります。「きたえ国語」では、学年の実態に合わせ、今年度は短い文章を書く活動に重点的に取り組ませ、子供の書く力を高めてきました。今後も継続します。

引き続き、よさを励ます指導を全ての教師が心がけ、子供の課題をつかみ、わからなかったことをわかるようにすることで、全ての子供が笑顔で通える学校を目指していきます。

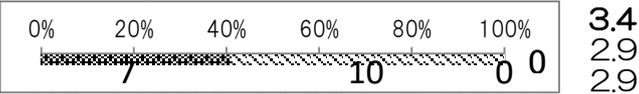
#### 4. 教育目標「心ゆたかな子」

##### 【教師による自己評価】

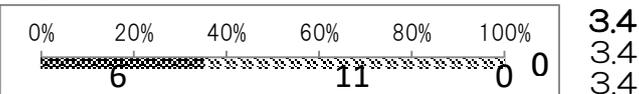
道徳の授業の充実をはかり、豊かな人間性の基礎を耕すことができたか。



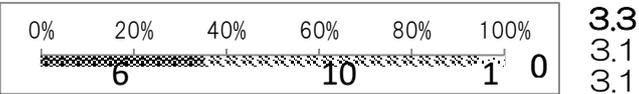
縦割り活動を中心とした異学年の交流を実践し、豊かな人間性や社会性を育てることができたか。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導はできたか。

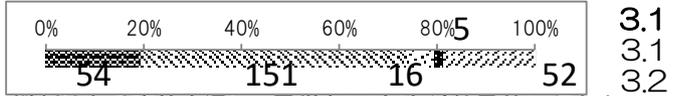


教師の指示の通る学級作り、自浄作用のある学級集団作りができたか。

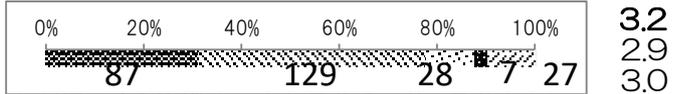


##### 【保護者による評価】

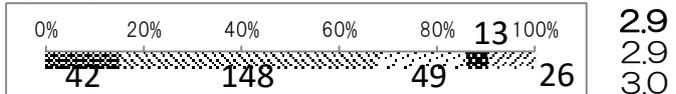
道徳の時間をはじめさまざまな指導を通して心の教育の充実が図られている。



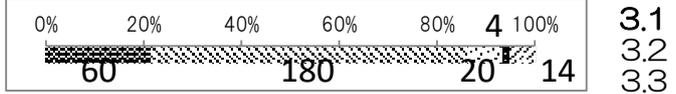
縦割り生活班等を通して異学年の交流が効果的に行われている。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。



集団生活での細かなルールも守り、友達と協力・共同して活動している。



「Q. 道徳の時間の充実・心の教育」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が74%と、一定の評価をいただきました。一方、今年度も道徳授業地区公開講座など、可能な限り道徳の授業公開を行ってまいりましたが、「わからない」が全体の19%と多くみられました。令和6年度も、積極的な道徳の授業公開、学年だより等での授業紹介、ホームページでの日常の子供の様子の紹介等で、より分かりやすくお伝えしていきます。

「Q. 縦割り活動・異学年の交流」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の78%と昨年度の59%から大きく改善しました。練二ランドなどの異学年の交流の場がコロナ以前と同じように活動できたことが要因として挙げられます。来年度も、本校の特色である異学年の交流の場を多く設定し、日常的に異学年がかかわれるよう活動を工夫していきます。

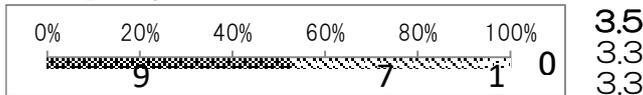
「Q. あいさつや言葉遣い」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が68%に留まりました。【児童による自己評価】では、児童のあいさつの意識は86%と高く、保護者の皆様と児童の意識・感じ方に隔りがあることがわかります。「子供はあいさつができていて感じ、大人は子供のあいさつがよいと感じていない」という可能性が考えられます。引き続き令和6年度も、代表委員を中心としたあいさつ運動、あいさつ川柳大会など、あいさつへの意識を高める取組を全校で行うとともに、教師自身が手本となって積極的にあいさつする、場面を逃さず挨拶をするなど、全校体制で取り組みます。なお、子供の言葉遣いの手本は教師です。教師自身がていねいな言葉遣いで子供と接する意識を、一段と高めていけるようにしていきます。あいさつの向上には家庭、地域のご協力が不可欠です。ぜひ、ご協力ください。

「Q. 集団生活のルール 協力共同しての活動」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全

## 5. 教育目標「健康でたくましい子」

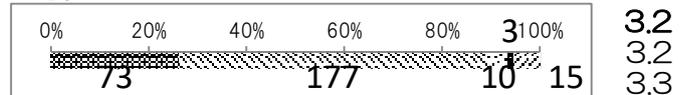
### 【教師による自己評価】

すすんで運動に親しみ健康な身体づくりをする態度を養うことができたか。

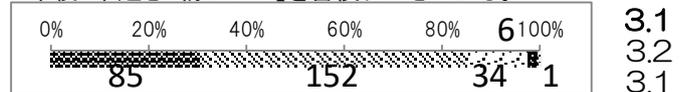


### 【保護者による評価】

保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組んでいる。



「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化できている。



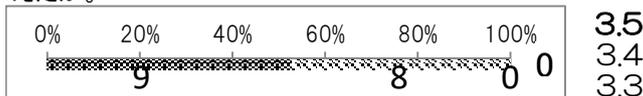
「Q. 健康な身体づくり」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が90%。一方、【児童による自己評価】の「Q12. すすんで運動する」では、「とても思う」「だいたい思う」が77%で積極的でない児童が一定数いることがわかります。健康な身体づくりの柱は「体育授業」「運動遊び」「体育的活動」です。今年度も、なわとび月間、マラソン月間に取り組みました。令和6年度も、遊びや授業を通して、引き続き運動の楽しさを味わわせていきます。

「Q. 早寝 早起き 朝ごはん」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち85%。【児童による自己評価】でご覧頂くと、学年が上がっていくとともに、数値が低下しています。体が成長する時期の栄養・休養が低下しないように家庭と連携しながら繰り返し指導していきます。

## 6. 外に開かれた学校・地域との連携

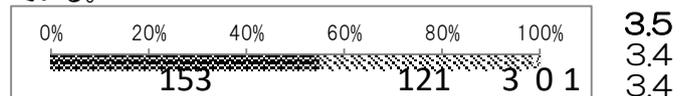
### 【教師による自己評価】

学校公開、学年・学級通信等を通して学校の様子を外へ伝えたか。

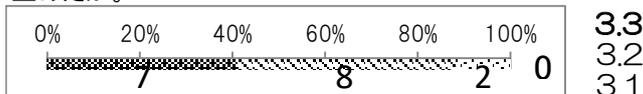


### 【保護者による評価】

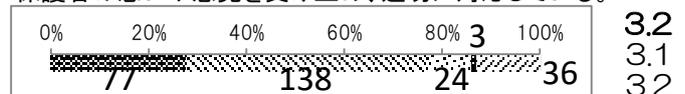
学校公開、行事、学校だより等を通して学校の様子が伝えられている。



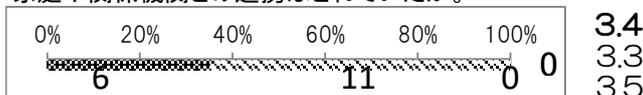
保護者会や感想アンケート等を通して、保護者の意見を受け止めたか。



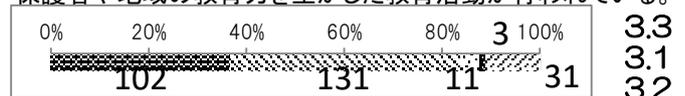
保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。



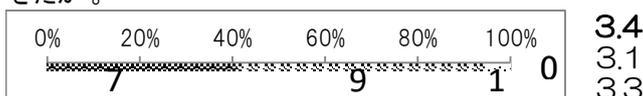
家庭や関係機関との連携はとれていたか。



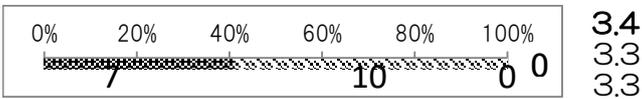
保護者や地域の教育力を生かした教育活動が行われている。



地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等はできたか。



日本の伝統文化に親しむ活動ができたか。



「Q. 学校の様子を伝える」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の98%と最も数値が高かった項目です。引き続き令和6年度も、学校ホームページ、学校だより、学年・学級通信の充実を継続し、積極的な公開を行っていきます。

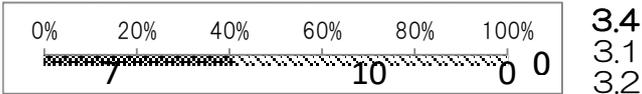
「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が7%。「Q. 家庭や関係機関との連携」の教師による自己評価では、今年度の取組への一定の評価がうかがえました。一方、「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」における保護者による評価では「あまり思わない」「思わない」が全体の10%でした。引き続き、保護者の皆様への丁寧な説明・連携や、支援の必要な児童に対する組織的な対応を行っていきます。加えて、保護者会や個人面談での意見交換、学校評価や行事での意見交流、そして、これらの意見を受け止めた上で学校の発信を大切に、更に学校を開いていきます。

「Q. 保護者地域の教育力を活かす」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が84%。昨年度の80%から改善が見られます。教師の自己評価は「3.1」から「3.4」に回復。中止となっていた行事がコロナ以前に戻りつつあること、そして何よりも、80周年記念行事などで、地域の皆様にご協力いただいたことが、高い評価につながったと考えています。地域と共に歩む練二小、地域の方に協力いただいてさらに学習材の開発をし、保護者、

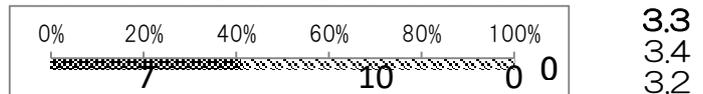
## 7. 内に開かれた学校

### 【教師による自己評価】

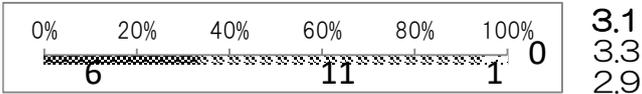
教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか。



合同授業・TT指導・専科教諭との協力はできたか。



他の職種との相互尊重と連携ははかれていたか。



「Q. 教育目標の共有化と組織活動」の教師による自己評価では、昨年度「3.1」から「3.4」へと改善し、教師の更なる意識の向上がうかがえました。「Q. 指導での協力」の教師による自己評価では、教師による一定の評価がありました。今年度も、学習指導を中心とした担任と専科での連携が図れたと考えています。

一方「Q. 他職種との相互尊重・連携」の教師による自己評価は低下しました。引き続き異なる職種での協力体制、連携に高く意識をもち、来年度も『チーム練二』を合言葉に、特別支援教室、生活支援員、心のふれあい相談員、スクールカウンセラー、養護教諭、担任、専科の特別支援での連携、栄養士や給食調理員との給食での連携、用務主事や事務主事との施設環境面での連携、外部関係機関・保護者・地域との情報連携を確実に行ってまいります。

## C. 保護者による自由記述 ～ 一部をご紹介します ～

- ・学校公開や学校HPで日々の学校生活の様子を見ることができ、学校の雰囲気や子供の成長を知ることが安心できる。
- ・ホームページでの子供たちの様子の配信を、毎日楽しみにしている。
- ・子供が喜ぶイベントがたくさんあり、ありがたい。
- ・挨拶をしない子供が多いと思う。大人が挨拶しても挨拶をしない。
- ・今年はコロナ禍前の学校生活にだいぶ戻れて、いろいろなことができるようになって良かったと思う一年だった。
- ・いつも丁寧なご指導がありがたい。毎日楽しく学校に通っている。
- ・タブレットの活用を進めて欲しい。
- ・配布物をデータ化してほしい。
- ・いつでも誰でも校内に入れる状態。不審者が校内に入れないよう強化が必要だと思う。
- ・登校班や遠足などの縦割り活動をとおして、年上の人に優しくしてもらうことを学べていると感じる。
- ・登校班を廃止してほしい。
- ・クラスの人数が多すぎて先生の負担が多いのではないかとと思う。3クラスにしてほしい。
- ・サポートの先生が入ったり、体調不良のときに保健室で優しく対応してくれたり、学校の体制が整っていると思う。

今回も保護者評価にご協力いただき、深くお礼申し上げます。本年は約92%のご家庭から回答をいただくことができました。今回の自由記述のご意見から感じられたのは、説明でご理解いただいて解決する内容と、保護者と学校が知恵を出し合って考えていく内容があることです。毎回の行事感想でもご協力いただいているとおり、皆様と共に歩いていく練二小です。来年度以降も全家庭からの回収を目指し、いただいたご意見を生かして、引き続き学校改善をしていきます。令和6年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。